

# LEDO健診

## 「標準コード化」と デジタル化の意義

～ LEDO デジ化システムによる地域医療DXと身元確認の新スキーム ～

# 東日本大震災が証明した、歯科所見の圧倒的な有用性

歯科情報による  
身元確認数

1,204

件

東日本大震災

## 歯科所見

○ 迅速なスクリーニングが可能

○ 津波・水害による劣化に強い

○ 生前データが地域診療所に存在

## DNA型鑑定

× 解析に時間を要する

× 水害では試料が劣化しやすい

× 家族の検体・生前登録が必須

大規模水害・津波シナリオでは、歯科記録が最も確実に迅速な個人識別ツール

# 従来の身元確認における「時間」と「互換性」の障壁

## 障壁1

### 物理的喪失

津波による紙カルテの  
流失・破損。  
データが消滅する。

## 障壁2

### システムの分断

各社レセコンの  
データ形式が異なり、  
互換性がない。

## 障壁3

### アナログな照合

警察が歯科診療所へ  
一件ずつ電話照会する  
「人海戦術」。

このアナログな遅延が、ご家族の精神的負担を増大させていました

# 「標準コード」が実現する、瞬時のスクリーニング

Before 記号・略号・和文・英文の混在

× ○ C  
略 : B-5 or NBOF  
Mill ○ Arg  
△ / Fill-U  
→ ブリッジ + Cr(u)



厚生労働省  
「口腔診査情報  
標準コード仕様」  
への統一

After 標準コードで統一された数値列

01020304050607080910111213141516  
17181920212223242526272829303132  
01020304050 口腔診査標準 1213141516  
01121331091011141517111213141516

## コードが実現すること

- ✓ 瞬時の絞り込み      データベースを即時検索し、候補者を上位1%に絞り込むことが可能
- ✓ 遺体の損傷にも対応      AIアルゴリズムが歯の位置ずれ・欠損を自動補正して照合

# LEDOデジタル化システムのメリット

## デジタル化前（紙運用）

- 健診票を紙に手書き記入
- レターパックで郵送
- BMI・残存歯数を手計算
- 入力漏れのチェックが手作業
- データ集計に時間がかかる
- 医療機関間での共有が困難



## デジタル化後（LEDOデジタル化）

- オンラインで健診データ入力
- 郵送不要・ペーパーレス化
- BMI・残存歯数を自動計算
- 入力漏れを自動チェック
- 集計・分析が即座に可能
- 医療機関間でシームレス共有

# チェアサイドからクラウドへ。情報はどう守られ、どう活用されるか

1

## 健診実施

診療所でLEDO健診  
データを入力

2

## 標準化と送信

「口腔診査情報  
標準コード仕様」  
へ自動変換

3

## クラウド保管

島根県歯科医師会が  
まめネット内の  
セキュアな環境で保管

4

## 災害時の照会

県警が歯科医師会を  
通じシステムに  
アクセス

あなたが日々入力するデータが、現場の最前線で使われるツールに直結しています

# 覚書の締結（2025年10月21日）

大規模災害時等の身元不明者特定における後期高齢者歯科口腔健康診査データの活用

1

島根県

行政機関

2

島根県  
歯科医師会

歯科専門機関

3

島根県警察

法執行機関

4

後期高齢者医療  
広域連合

保険者

5

テクノ  
プロジェクト

民間・技術

★ 日本初：警察機関・民間企業と連携した産官学による身元確認スキーム

# 対象者約8万人。LEDO健診の新たな役割

## 【本来の目的】 県民の健康維持と増進

対象年齢：76～85歳

歯周病・咬合・口腔清潔度・義歯の管理などを総合的に評価

## 【新たな役割】 大規模災害時の身元確認データベース

標準コード化されたデータを警察の身元照合に提供

受診率を上げるほど「救える身元」が増える

ダッシュボード

対象者数 (R7)

79,730  
人

現在の受診率 (R6実績)

11.51%

この受診率を向上させることが、そのまま「救える身元」を増やすことに直結します

# 私たちにできること：日々の診療が命を繋ぐ3つのアクション

1

## 正確な入力

「口腔状態スナップショット」の丁寧な記録。  
一つのカルテが最後の身元証明になり得ます。

2

## 受診率の向上

対象者（76～85歳）への積極的なLEDO健診の推奨。  
目標は現在の11.51%からの大幅な引き上げ。

3

## 意義の啓発

患者様とご家族に、「この健診が万が一の時の  
安心にも繋がる」ことをお伝えください。

# 島根から発信する、歯科医療の新たな社会的価値

臨床の専門知識とデジタルの標準化が結びつくとき、  
私たちは単に「歯」を守るだけでなく、  
県民の「アイデンティティ」、そして「ご家族の心」を守ることができます。

- ★ 東日本大震災で1,204件の身元確認に歯科情報が貢献
- ★ 標準コード化により候補者を上位1%に瞬時に絞り込み
- ★ 5者覚書：日本初の産官学連携身元確認スキーム
- ★ 対象者79,730人——受診率向上が「救える命」に直結

皆様の毎日の診療が、島根県の「万が一」を支えています